

服務規律に向けた校長面談&夏季管理職研修会から

～ 学びを職場へ ～

7月下旬に実施させていただいた服務規律確保に向けた校長面談では、校長先生と自校のコンプライアンス上の課題や取り組んだ成果、今後の方向性等について話し合いを行いました。また、8月6日に開催した夏季管理職研修会(副校長・教頭)では、「学校徴収金の適正な会計処理の手続きと管理の在り方」について、水戸市立内原中学校の今野学校主査を講師に招き、共有と相互確認の仕組みづくりについて講話をいただきました。その後のグループ協議では、他校の現状を共有するとともに、管理職の役割について協議するなど有意義な研修となりました。

校長面談、夏季管理職研修会から好事例を紹介したいと思います。

【服務規律確保に向けた校長面談】

- ・教職員のコンプライアンス意識向上のため、PTAの方が入った研修を実施
- ・「なぜ、分かっているのにやってしまうのか」根本にあるものへのアプローチ
- ・職員室で仕事をする機会を増やすことによる、情報収集と相談しやすさ
- ・ハラスメント防止に向けた人権意識や言語環境の整備
- ・コンプライアンス違反の引き金とならないよう心の健康(メンタルヘルス)に留意
- ・職員レクや調理等の実施による風通しのよい職場づくり
- ・教職員全員でつくる校内ルール(ハラスメント、飲酒、不適切指導)
- ・リスクファクターごとのグループ研修の実施
- ・コンプライアンス研修をホームページや学校だよりで保護者や地域に周知
- ・新聞報道等による全国各地で起こった事件や事故を活用してヒヤリハット研修
- ・服務規律確保について役割分担、面接、目配り・気配りを重視



※ 校長先生方との話し合いの中で、自校の教職員におけるコンプライアンスのリスクが高い項目をお聞きすると、「不適切な指導及び言動」が多く出ました。次に、「交通事故や交通ルール違反」、「個人情報の適切な取り扱い」などです。管理職として、教職員の状況や課題を把握し、その対応策をマネジメントすることが求められています。

【夏季管理職研修会】

- ・事務職員と同じ視点で教職員が確認するよう、誰もが「担当者」としての意識の高揚が大切である。
- ・今回の研修内容について、自校の事務職員と共有し、共通認識をもつようにする。
- ・市町村内の会計処理方法の統一化や見える化を提案したい。
- ・学校会計のガイドラインを定期的に見直したり、読み返したりしながら意識を高める。
- ・確実なチェック体制の構築。突合は事務職員と連携し、適正に実施する。
- ・事務職員が、業務しやすい、心理的負担を軽減する職場環境づくりを構築する必要がある。
- ・「ベテランだから大丈夫」が一番危ない。日頃からの声かけを徹底する。
- ・ヒューマンエラーを防ぐための体制の再確認を行う。
- ・「今まで通り」でスルーせず、会計処理の改善をためらわずに行う。
- ・学校事務の共同実施と一緒に参加し、状況を把握することも有効ではないか。
- ・外部委託を検討する。



重点対策4つの不祥事類型(飲酒運転・体罰・盗撮・わいせつ行為)0件継続を！

今年度も折り返しを迎えました。県内では、これまで重点対策である4つの不祥事類型は1件も発生していません。これも、校長先生がリーダーシップを発揮し、全職員が不祥事を自分事としてとらえ、「絶対に不祥事は1件も起こさない！」という強い決意の下、創意工夫あるコンプライアンス研修等に取り組んでいただいている成果です。ぜひ、これからも全教職員一丸となって、不祥事の根絶に取り組んでいきましょう！